

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市若林図書館	
2 指定管理者	株式会社ヴィアックス	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度：154,486人団体〔個人：154,318人，団体・文庫：168団体〕（前年度比 85.1%） 令和元年度：181,597人団体〔個人：181,302人，団体・文庫：295団体〕（前年度比 108.3%） 平成30年度：167,742人団体〔個人：167,357人，団体・文庫：385団体〕	
	《事業》 仙台市若林図書館の運営管理	
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 97,154千円 （97,045千円） ・ その他市が負担した費用 15,668千円 （16,415千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 千円 （ 千円） ・ その他収入 22千円 （ 39千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間：令和2年12月10日（木）～23日（水） ・ 利用者懇談会 開催日：令和3年2月18日（木）	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は、仕様書のとおり適切である。指定管理料は適正に執行されている。個人情報保護に努めるとともに、図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底している。危機管理マニュアルを作成し、必要な研修を実施している。災害発生時の訓練は関係機関と合同で適切に実施されている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されている。カウンターでは、持ち寄られた紙袋を本の持ち帰り用に希望する利用者へ提供するなど環境へ配慮した取り組みがなされている。	17/17
IV サービスの質の向上	利用者の意見を反映し、本の取り扱いのマナーアップを促す工夫、子育て支援コーナーの新設、中高生向け配架の工夫、大活字本の拡充等あらゆる層への配慮に努めている。本社の人材育成基本方針に基づく年間研修予定表を作成し、全従業員対象の各種研修のほか、eラーニングコンテンツを活用した研修により職員の資質向上に取り組んでいる。	27/27
V 施設固有の基準	子ども読書推進活動においては、のびすく若林や「新寺こみち市」など積極的に図書館の外に出て出前おはなし会を実施しており、ビブリオバトル中学生大会などの定評ある事業を継続して行っているほか、独自の読み聞かせボランティア講座も実施し、新たな読書活動推進の担い手育成に貢献している。 地域団体「海辺の図書館」と連携し、写真展とギャラリートークを実施するなど、震災の記憶の継承や震災文庫の利用促進を図った。農業園芸センターとの連携事業では、分担収集分野である農業関連資料のPRにも努めている。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（株式会社ヴィアックス）による自己評価》
<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止について適切な措置を講じた上で事業を実施するとともに、若林図書館の持つ特徴や地域特性を活かして、「地域・市民に役立つ、共に成長を続ける図書館」の実現を目標に運営を行った。事業を実施するにあたっては感染防止対策として、参加者、主催者ともに、マスク着用や手指消毒、体調確認などを基本に、参加者数に制限を設け、定例おはなし会以外は事前予約制とした。その他、密を生まないよう内容を変更するなどして、事業を実施した。</p> <p>自主事業については地域と連携した事業を中心に取り組み、図書館利用の促進を図った。中でも、震災関連事業として若林区荒浜地区で元住民と支援者との憩いの場づくりに取り組む民間団体「海辺の図書館」と協働し、『荒浜の思い出、そして今、未来へ』をテーマに、写真展を開催した。震災で被災した元住民の方々に集う場所を提供するとともに、仙台市図書館で進める『震災文庫』の利用促進を図る機会となった。また、区内のせんだい農業園芸センターと農業連携事業として「仙台の伝統野菜」に関する講座を実施し、地域の歴史を再発見する機会とした。加えて、「てんたん人形劇場公演」「POP de バトル」「文学散歩：山田野理夫と妖しき怪談世界」など年齢層に合わせた多様な事業を実施した。これらの取り組みにより、既存利用者の満足度を上げるとともに、新たな利用者の図書館への来館促進につなげることができた。</p> <p>職員研修では個人情報保護や人権啓発、接遇などをテーマにした全従業員対象の研修のほか、eラーニングコンテンツを活用した研修を実施し、専門性の向上に努めた。施設管理面では、視聴覚室の空調修繕工事を行い、館内設備を整備した。また、YAコーナーについては、蔵書を見直し、レイアウトを一新したほか、利用の多い大活字本などの配架を拡大するなど、親しみやすく快適な読書環境を提供することができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、地域イベント「新寺こみち市」における「ヤギさんおはなしかい」の継続、のびすく若林でのおはなし会など地域に出向いて事業を行うとともに、図書館内のおはなしの部屋内に「子育て支援コーナー」を設けて、乳幼児親子に憩いの場を提供し、読書支援の充実を図った。</p> <p>また、震災関連事業として「荒浜の思い出、そして今、未来へー海辺の図書館写真展」を協働開催し、震災の記憶の継承に取り組み、震災文庫の利用促進にもつなげた。せんだい農業園芸センターとの連携事業では、宮城大学より講師を招き、地域農業に着目した講座開催と同時に、分担収集分野である農業関連資料のPRにも努めた。その他、聖ウルスラ学院英智高等学校の部活動監督によるスポーツ講演会、仙台出身作家を取り上げた講演会、人形劇、映画上映会、ぬいぐるみおとまり会等広い世代や分野に配慮した独自の事業を展開した。</p> <p>図書館内においては、YA（ヤングアダルト）コーナー資料の配架場所を変更して入口にも新刊専用展示コーナーを設置し、中高生に利用しやすい環境整備に努めた。また、大活字本の書架の購入により配架場所を拡大して高齢者サービスの充実も図るなど快適な読書環境の提供に努めた。</p> <p>職員研修については、個人情報保護や人権啓発、接遇などをテーマにした全従業員対象の研修のほか、専門分野への研修に積極的に参加して充実した研修体制を整えている。</p> <p>今後も引き続き、民間のノウハウを活かした事業実施とともに適正な施設運営を期待する。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館